「善とはよい品性、罪とはあなたにとって胸騒ぎがするものであり、人々がそれを見ることをあなたが嫌うようなもののことである。」

アン＝ナウワース・ブン・サムアーン（アッラーのご満悦あれ）は言った： 私はアッラーの使徒（アッラーからの平安と祝福あれ）に、善と罪について尋ねた。する
と彼は言った：「善とはよい品性、罪とはあなたにとって胸騒ぎがするものであり、人々がそれを見ることをあなたが嫌うようなもののことである。」
[صحيح] [رواه مسلم]

預言者（アッラーからの平安と祝福あれ）は善と罪について尋ねられ、こう言った： 善の中でも最大のものの一つが、よい品性である。それはアッラーには敬虔さをもって対し、人々に対しては以下のような性格をもって接することである：害悪に対する忍耐。怒りの制御。柔らかい表情。良い言葉。良好な関係性。従順さ。善行。やさしさ。よい付き合い。 他方、罪とは以下のような性質を帯びたものである：疑心暗鬼から胸騒ぎがすること。安心できず、心が落ち着かないこと。心に疑念を生じさせるようなこと。罪の恐れを感じるようなこと。品性がある高貴な人々の目に醜く映るものゆえに、それが人目に晒されるのを望まないようなこと。というのも人間はその性質上、人にはよいものを見せたいからである。つまり人から見られたくない行為はよいものではなく、罪なのである。

http://www.sunnah.global/hadeeth/ja/show/4308